

平成18年度第2回函館市戸井地域審議会議事録（要点）

1 日 時	平成18年10月24日（火）14：00～15：15
2 場 所	函館市戸井支所 第3会議室
3 出席者	<p>尾関忠義委員，宇美健次郎委員，藤本静夫委員，濱島史子委員，山路榮委員，館山澄子委員，吉田悦也委員，植野範子委員，吉田恵美子委員，木村信委員，加藤千州雄委員，布施求委員，菊地真由美委員</p> <p>（事務局）戸井支所・・・吉澤戸井支所長，松田戸井副支所長，池田地域振興課参事，松澤地域振興課主査，古一地域振興課主任，久保田産業課長，岩船建設課長，菊地保健福祉課長，林住民サービス課長</p> <p>戸井教育事務所・・・水戸所長・山下副所長</p> <p>函館市企画部・・・佐藤地域振興室課長，進藤地域振興室主査</p>
4 その他	<p>傍聴者 なし</p> <p>報道機関 北海道新聞社，函館新聞社</p>
5 議 事	<p>池田参事 ただいまから，平成18年度第2回函館市戸井地域審議会を開催致します。開催にあたり，尾関会長からご挨拶を申し上げます。</p> <p>尾関会長 挨拶要点 今日は，平成19年度地域別事業計画の説明が主であり，委員の皆さんと協議致したい。</p> <p>吉澤支所長 挨拶要点 10月7日から8日にかけての当地域における低気圧による高波被害の概要について説明。本日の会議は，現在の委員での最後の会議となる，来年度の事業計画案の説明があり，忌憚のないご意見を頂きたい。</p> <p>池田参事 企画部地域振興室職員紹介</p> <p>尾関会長 審議会の設置に関する規定により，委員の過半数の出席要件を満たしているため会議に入る旨告げ，議題第1号，前回の意見等の集約結果と</p>

	<p>取り組み状況について報告することとする。</p>
池田参事	<p>資料1 地域審議会 意見・要望等により説明</p>
全委員	<p>質疑なし</p>
尾関会長	<p>質疑がないため、平成19年度地域別事業計画案について説明を求める。</p>
池田参事	<p>資料2 平成19年度地域別事業計画案を説明</p>
山路委員	<p>公共施設の水洗化は、平成19年度に何ヶ所予定しているか伺う。</p>
池田参事	<p>利用状況等を考慮しながら3ヶ年の計画で順次予算要求している旨説明する。</p>
山路委員	<p>利用状況とは、施設の利用割合の高いところから実施するということか伺う。</p>
池田参事	<p>施設の利用度などを考慮し予算要求するが確定ではない旨説明する。</p>
吉澤支所長	<p>公共施設の水洗化については、地域会館・学校施設などあるが、基本的には、利用状況や簡易水洗の設置状況などを考慮に平成18年度から3ヶ年間で調整・計画した。残る2年間で、全施設での実施を要望しているが財政的問題もあるので理解頂きたい旨説明する。</p>
吉田(悦)委員	<p>漁業後継者育成対策事業の内容について伺う。</p>
吉澤支所長	<p>現在、函館市水産振興計画を策定中であり具体的なことは、成案後説明したいご理解願う。</p>
吉田(悦)委員	<p>小安地区で実施されたガゴメ増産対策事業はあまり効果を感じない。今後の対策について伺う。</p>
久保田課長	<p>ガゴメの増産対策事業は、3ヶ年の計画で進め、今年が2年目である。今年度実施した小安と釜谷の状況としては、真昆布の勢力が強くガゴメが負けている状況にある。本庁水産課と協議し今後の対策を進める旨説明する。</p>
尾関会長	<p>藤本委員の地域でもガゴメ礁の計画があるそうですが、意見等はない</p>

	か伺う。
藤本委員	水深の浅いところは芳しくなく，武井の島下側の水深の深いところが良いと聞く旨説明する。
久保田課長	場所の選定については，漁協の希望に沿って設置している。今後も漁協と相談しながら適地を選定し設置する旨説明する。
藤本委員	ウニの囲い礁は来年も新二見地区に計画されているが，前年のような浅い場所へ設置した場合，海の形態が変わり，砂の堆積，高波の発生原因になっているように感じる。また，ウニが着定・成長しているか漁協と充分連携・調査していく必要があるのではないかと伺う。
久保田課長	漁協の希望に沿った形で進めているが，ご指摘の部分も含め協議・検討して参りたい旨説明する。
尾関会長	他に質疑がないので，地域振興全般に関する意見交換をする旨告げる。
館山委員	地域審議会の委員が，小安・釜谷地域に集中しているので，各地域から選考した方が良いのではないかと伺う。
池田参事	参考にする旨回答する。
山路委員	全国的に異常気象とのことから，除雪対策については万全の体制で積極的に実施して頂きたい旨要望する。
吉澤支所長	警報が出た場合の防災体制を第1次・第2次・第3次と組んでいる。大雪・高潮対策等については，防災担当と現場の担当が連携し問題のないよう進めるとともに，除雪費についても本庁と連携し対応していきたい。また，除雪の際には，路上駐車をしない等地域の皆さんの協力をお願いする。
植野委員	戸井地区の文化祭は，地区文化団体連絡協議会加盟団体により開催されてきたが，文化団体連絡協議会が今年度をもって解散する。文化祭の今後について伺いたい。
水戸教育事務所長	来年度以降は，教育事務所の事業として展示・芸能部門を開催するよう予算要求している旨説明する。

藤本委員	<p>今年は、サケの釣り人によるゴミのポイ捨ても少なくマナーが良くなっている。行政で何か行ったのか伺う。</p>
林課長	<p>行政では特に行っていない。町会長はじめ、地域の方々が注意をして下さっている結果ではないか。感謝する旨説明する。</p>
菊地委員	<p>南茅部地区の縄文遺跡の報道記事を見る機会が多い。また、大船遺跡の保存・整備の計画などもある。戸井地区にも、戸井貝塚から出土した舟型土製品等貴重な資料があり、以前は、子ども達に遺跡をテーマにした学習が行われていたが、最近は行われていないのか。また、旧東幼稚園の埋蔵文化財展示館の現状はどうなっているのか伺う。</p>
水戸教育事務所長	<p>戸井町時代には、土器づくり教室等を行ってきたが、今年度は、勾玉づくり教室だけを実施した。来年度の事業については、内部で検討中である。また、埋蔵文化財展示館については、老朽化のため、外壁等を修理し延命化を図る。専門家の方々から要請があった場合、市教育委員会の専門家に来て頂き開館している旨説明する。</p>
山路委員	<p>小安地区共同墓地に、水道設備の設置予定があるか伺う。</p>
吉澤支所長	<p>共同墓地への水道施設の設置は、設置後の管理・料金の支払い問題、また、高台にある水道設置困難墓地との公平性等の問題があり、調整が付かなかった経緯がある。近々開催される環境整備懇談会等の中でも検討したい旨説明する。</p>
山路委員	<p>地形的に設置出来ない所もあるが、設置可能な所は実施して頂きたい旨要望する。</p>
藤本委員	<p>原木地区には2箇所墓地があり1箇所には水道施設はない。利用者がペットボトル等に対応しており、地域で要望はない旨説明する。</p>
館山委員	<p>水道料金の負担や管理問題もあり、水道設備の設置は困難であると考える旨説明する。</p>
吉澤支所長	<p>この問題は、町会長会議において何度も協議しているが調整が付かない。しかし、小安町会で是非とも実施したいというのであれば、管理組合の設置等も含め検討するのも良いのではないかと考える。水道凍結、料金負担等を考えると、個人対応していくのが良いものと思っているが、環境整備懇談会などでも議論したい旨説明する。</p>

尾関会長	昔は、盆にしか行かなかった墓参りも、最近では、彼岸にも行くようになった。墓に行く機会が増加している旨説明する。
山路会長	町会長・墓地管理人と協議の上で発言した。環境整備懇談会等での引き続きの協議をお願いする。
尾関会長	山路委員の意見に賛成します。ところで、沢水を利用したらダメなのでしょうか。
山路委員	沢水の話は以前にもあったが、衛生面で問題があるとのことであった旨説明する。
尾関会長	共同墓地の件は、環境整備懇談会等でも協議して頂きたい。他に質疑がないか諮る。
加藤委員	戸井高校と恵山高校の統合問題について伺う。
水戸教育事務所長	恵山高校は、平成19年度から募集停止、現生徒が卒業次第廃校が決定している。戸井高校との統合も検討したが道立・市立の関係上不可能という結論である。道教委の平成19年度までの指針では、1間口校が入学生徒20人を2年間割った場合廃校の対象となっている。また、平成20年度からの指針では、原則1間口校は存続されない。戸井高校も廃校の対象となる。恵山高校の廃止により、戸井高校に生徒が流れてくることが予測され期待をしている。9月1日現在、中学3年生を対象に行った調査では、戸井高校を第1志望としている生徒28名・第2志望としている生徒5名であり20名以上にはなるものと見込んでいる。しかし、道教委では、地元からの入学志望者率についても検討しているようだ。教育事務所としても校長会を通じて色々な情報を提供しながら戸井高校の生徒募集に寄与して行きたいと考えている旨説明する。
尾関会長	他に質疑がないため、低気圧の災害状況の説明を求める。
池田参事	<別紙資料により概要説明>
吉澤支所長	<補足説明>
加藤委員	被災ゴミ処理とあるが、同日は、流木・砂利のほかに発泡スチロールが海から打ち上げられた。そのゴミを、また、海に捨てたとの話を聞いた。漁業関係者が海にゴミを捨てないような意識が必要である。

吉澤支所長	<p>今回の高波により相当数の流木・砂利・発泡スチロールが打ち上げられた。今回は、災害ということで4支所共通しており連携して環境部に相談の上処理させて頂いた。また、地元関係者の協力を頂き全部処理された。今後においても、きれいな町づくりについて地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えている。</p>
館山委員	<p>今回は、被害がなかったが、釜谷町室谷宅の前にも消波ブロックの設置が必要ではないか伺う。</p>
吉澤支所長	<p>前浜に消波ブロックを設置するにあたり、各漁協と協議しながら行ったが、拾昆布の関係等から入れないという箇所もあった。また、先程藤本委員からお話があったが、漁礁の設置なども潮の流れに変化を起こす要点ではないかと考える。今回の災害により、土木現業所に要望したいご理解願う。</p>
尾関会長	<p>他に質疑がないか諮る。</p>
藤本委員	<p>漁組関係の災害復旧状況について伺う。</p>
吉澤支所長	<p>斜路に消波ブロックが転がった箇所は、漁組と連携し撤去したいと考えている。もう少し時間を頂きたい。また、市道の一部破損箇所の復旧にも若干時間がかかることを理解願う。</p>
山路委員	<p>高屋敷川河口の土砂・砂利を、今までとは別な場所へ搬出した方が効果あるのではないかと伺う。</p>
吉澤支所長	<p>道の管理区域であることから色々課題はあるが、今後搬出も含め協議したい旨説明する。</p>
尾関会長	<p>高屋敷川河口の石を投石したことがある。漁業に効果があった旨説明する。</p>
吉田（悦）委員	<p>低気圧前までは、石が随分堆積していたが、低気圧により削られてなくなった。年1回程川を掘っているが、その効果・理由がわからない。水が溜まることにより子どもには危険であるという話を聞くが、掘っても効果ない場所ではないか問う。</p>
吉澤支所長	<p>普通河川に土砂が堆積し、事故や災害に繋がる恐れがある。管理者として最低限のことは実施している、理解願う。</p>

尾関会長	他に質疑がないか諮る。
加藤委員	平成19年度から戸井ウォーターパークに指定管理者制度が導入されると聞かすが、現在の進捗状況について伺う。
吉澤支所長	4業者の応募があり11月1日の選考会で1社が選考される。その結果が12月議会に提案され可決されると、平成19年4月1日から指定管理者が管理することになる旨説明する。
尾関会長	他に質疑がないか諮かる。
池田参事	戸井地域審議会委員の中から函館市新総合計画審議会委員の選出依頼があった場合は、正副会長と相談のうえ推薦したく了解願う旨説明する。
全委員	異議なし
尾関会長	他に質疑がないため、以上をもって会議を終了する旨告げる。